

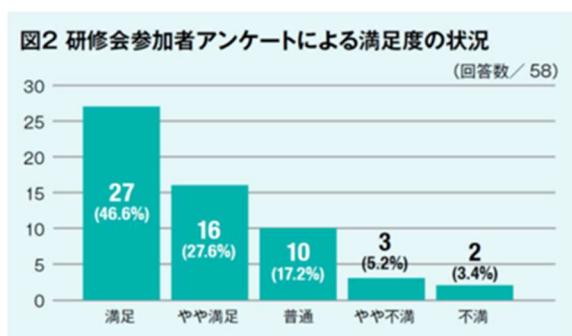
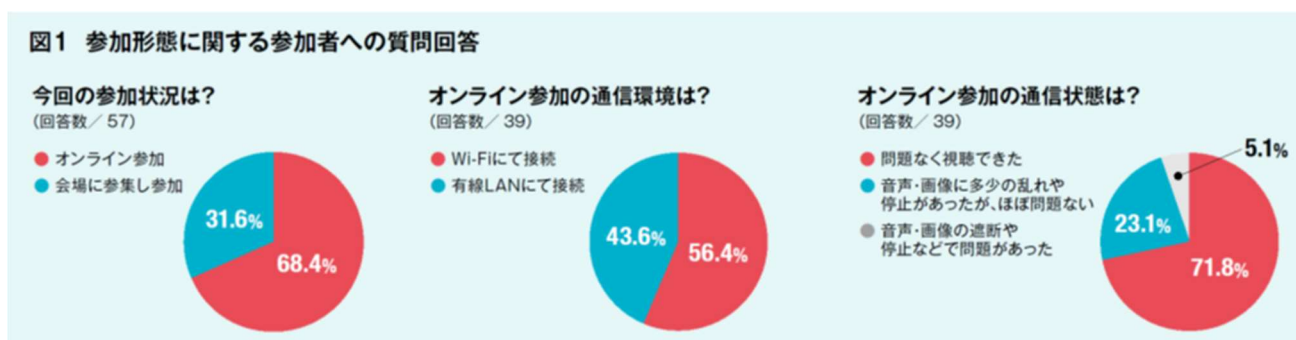
日本機能訓練指導員協会

第 2 回 認定機能訓練指導員実務研修会

令和3年3月7(日)・14日(日)の2日間、兵庫県柔道整復師会会館において、日本機能訓練指導員協会主催『第2回 認定機能訓練指導員実務研修会』が開催された。

1都3県で緊急事態宣言が継続される中、初めての試みとして会場参加とオンライン参加を併用したハイブリッド形式での開催となりました。会場参加による研修会はすでに12月の東京会場で実施されておりましたが、オンラインとの併用となり、多くの新たな準備作業が必要でした。

当日の会場参加は19名、オンライン参加は54名。オンラインでは北海道から九州まで、全国から受講していただきました。運営面で複数のトラブルがありご迷惑をおかけする場面があったものの、講座内容はおおむね予定どおり実施できました。終了後のアンケートでも「満足」「やや満足」を合わせて74%あまりという結果となり、好評のコメントも多数いただきました(図1、2参照)。



基礎的な知識を網羅した研修内容

講座は、「現場で活躍できる機能訓練指導員の育成」を目的とし、今回の内容は以下のようなものです。

- 機能訓練指導員を取り巻く制度と機能訓練を利用する対象者像
- ICF (国際生活機能分類: International Classification of Functioning, Disability and Health) の概念図からみた対象者の捉え方
- 機能訓練計画を組み立てるために不可欠な利用者の悪化予測と改善の可能性への視点
- 安全管理及び運動処方 of 具体的な方法

日整特別諮問委員の三谷講師の講義のほか、兵庫県栄養士会の河内講師による「多職種との協働に向けて高齢期の食と栄養」、兵庫県歯科衛生士会の岩崎講師による「口腔機能低下層と口から食べる支援について」などの講義が行われました。さらに、認知症の専門知識を持つ「認知症サポーター」の育成講師・認知症サポーターキャラバン・メイトの日整特別諮問委員・藤本講師や福祉用具専門相談員・福祉住環境コーディネーターのケアサポート西本・渡辺講師の講義により、基礎的な知識の習得を行いました。



特別諮問委員 三谷先生



兵庫県栄養士会 河内先生



兵庫県歯科衛生士会 岩崎先生



ケアサポート西本 渡辺先生

実践研修のアドバンスコースも開催予定

2020年度は、2回のベーシックコースを開催しました。今年度は、ベーシックコース1~2回、アドバンスコース1回の開催を予定しています。

アドバンスコースは、さまざまな事例をもとに機能訓練の実際から計画書の作成まで、より実践に備えた研修内容となります。課題の提出を伴うグループワーク形式となり、ベーシックコースのような座学による研修は行いません。そのため会場参加形式の開催になります。ベーシックコースに比べ研修時間も長くなり、自宅学習のカリキュラムも含まれます。今年度の後半に東京で開催を予定しています。今後、各会員宛てに日整より詳細案内を行ってまいりますので、ぜひ参加をご検討ください。

コロナ禍で新たな開催スタイルが浸透

さて、1年以上も続くコロナ禍で、今回開催されたベーシックコースのように、会議や研修の形は様変わりしていくでしょう。その形式には主に以下の3タイプが挙げられます。

- ①参加者が開催会場に足を運ぶ…従来通りのスタイル。顔の見える関係で即時の対応や意見交換もしやすい。
- ②オンラインによる開催…移動時間や交通費等コストが削減でき、規模が大きいものほど経費節減につながりやすい。
- ③会場参加とオンライン参加を選べるハイブリッド型…会場の環境や機材等に運営側のスキルが必要。しかし広い地域から参加者を募集できる。

②、③タイプの利便性は、コロナ禍において実感した人も多かったのではないのでしょうか。組織の参集形式において、大きな転換点になったことは間違いありません。今後、アフターコロナを迎えても、新しい生活様式の一環として浸透していくものと思われます。

日整および関連各団体においても、その準備を進めることが重要になってくるでしょう。また参加される方々も、オンライン形式での会議や研修に慣れていくことが必要です。